

コアカリキュラム改訂の 背景・経緯等について

平成26年6月1日

日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議

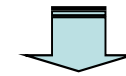
丸岡 充（文部科学省医学教育課）

修業年限延長議論とモデル・コアカリキュラム作成

薬剤師養成問題懇談会

構成メンバー：日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・私立薬科大学協会
国公立大学薬学部長会議・文部科学省・厚生労働省

(平成14年1月21日各構成者が今後解決していくべき課題を取りまとめ)



日本薬学会
薬学教育モデル・コア
カリキュラムの作成
(平成14年8月)

薬学教育の改善・充実に関する調査研究
協力者会議 (文部科学省)
(平成16年2月12日「最終報告」)
①薬学教育におけるカリキュラム等について
②実務実習について
③薬学に関する教育制度について
④生涯学習の推進について 等

薬剤師問題検討会 (厚生労働省)
(平成15年10月29日「中間報告」)
①薬剤師需給について
②受験資格・内容の見直しについて
③実務実習について
④薬剤師業務の在り方について 等

文部科学省
実務実習モデル・コア
カリキュラムの作成
(平成15年12月)

中央教育審議会 (文部科学省)
(平成16年2月18日「答申」)
①薬学教育の修業年限延長について
②設置基準等について 等

薬学教育モデル・
コアカリキュラム合本

学校教育法改正
(平成16年5月21日公布)

薬剤師法改正
(平成16年6月23日公布)



平成18年4月 6年制薬学教育スタート

新薬剤師養成問題懇談会（六者懇）での議論

メンバー

- ・ 国公立大学薬学部長（科長・学長）会議
- ・ 日本私立薬科大学協会
- ・ 日本病院薬剤師会
- ・ 日本薬剤師会
- ・ 厚生労働省
- ・ 文部科学省

オブザーバー

- ・ 薬学教育協議会
- ・ 日本薬学会 薬学教育委員会
- ・ 日本薬剤師研修センター
- ・ 全国薬科大学長・薬学部長会議
- ・ 薬学教育評価機構
- ・ 薬学共用試験センター

主な意見

- 作成から年月が経過し、**学術の進歩及び薬剤師業務の変化**等のため見直しが必要。
- 医療機関における**薬剤師の役割も病棟活動を中心に多様化・拡大化**している。特に、チーム医療の一員としての薬剤師の役割が重視されるようになっている。
- 薬剤師がどうあるべきかという**全体的なコアコンセプトが不完全**。
- **薬学教育のニーズや力点**の置かれ方も分野によっては**大きく変化**してきている。
- 各大学が独自性を発揮できるよう**コアの部分**を厳選することや、**6年制と4年制の違い**に配慮する必要。

文部科学省「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」での議論

- ・ 薬学部を置く全大学と日本製薬工業協会会員企業を対象として、基礎データを収集（平成22年度）

コアカリに関する主な意見等

- コアカリが**窮屈・緻密**、項目数が多すぎる。実務実習の方略が細かすぎる
- コアカリに準拠した教育を行うと大学の**特色ある教育を行うことや独自性が発揮できない**
- 薬学共用試験の範囲となる目標を達成するため、教育がタイトになっている
- 既に**現状に合致しないSBO**が散見される
- **余分なもの**も含まれている
- **薬剤師養成のためのコアカリキュラムに厳選**すべき

改訂への議論③

医療人教育のうちの薬学教育として、新しい教育理念に基づいて作成された。

平成14年～15年に作成された。

→ 平成18年の新薬学教育制度の開始前
専門教育と実務実習が独立している。
積み上げ方式、ユニット＝講義単位で作成された。

10年経過し、6年制教育への時代のニーズに合わせて改訂、
薬学関連領域の科学の進歩、
法律等の改定、社会の変化等への対応

6年制教育に特化したコアカリへ改訂

自由度の高いカリキュラム編成（スリム化）

Outcome Based Education（学習成果基盤型教育）

主体的な学習、問題解決能力の醸成など

薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂の体制

改訂版／平成27年4月から実施

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂等を決定する組織(薬学系人材養成の在り方に関する検討会)

決定 ↓ ↑ 報告

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂の原案・方針の作成等を行う組織(薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会)

- ・基本理念と位置づけ
- ・薬剤師として求められる基本的な資質の検討
- ・資質とGIO・SBOとの関連性の整理等
- ・モデル・コアカリキュラムの「A～O」の項目立て

委託 ↓ ↑ 報告

薬学モデル・コアカリキュラムの改訂等に関する「調査研究チーム」

(薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究委員会に設置)

- ・アンケート調査(ニーズ調査)
- ・GIOsとSBOsの具体的な作成等

文部科学省

日本薬学会

現行版／平成18年4月～

薬学教育モデル・コアカリキュラム合本

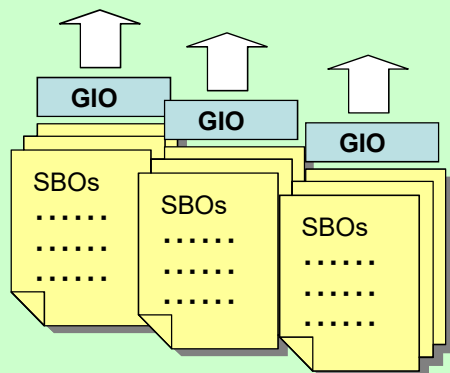
薬学教育モデル・コアカリキュラム

実務実習モデル・コアカリキュラム

+

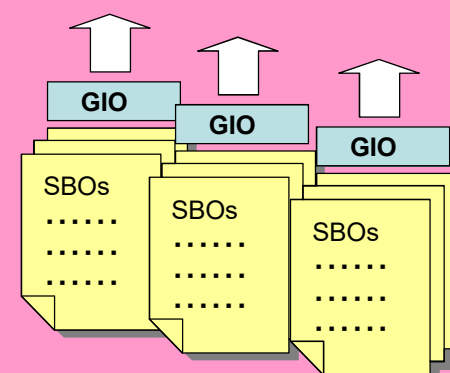
日本薬学会

薬学教育カリキュラムを検討する協議会「薬学教育モデル・コアカリキュラム」(平成14年8月)



文部科学省

薬学教育の改善・充実にに関する調査研究協力者会議
「実務実習モデル・コアカリキュラム」(平成15年12月)



検討の経緯

- 平成23年5月 文部科学省検討会において改訂の実施を決定
- 9月～ 文部科学省専門研究委員会における検討
- 平成24年2月 日本薬学会から各大学へアンケート調査
- 9月～ 日本薬学会による具体的な改訂作業
検討会、専門研究委員会における原案調整作業
- 平成25年4月 各大学等に「中間まとめ」を提示しアンケート調査
- 6月 検討会、専門研究委員会におけるアンケート確認
～8月 日本薬学会によるアンケートを踏まえた改訂作業
- 9月 全国説明会（日本薬学会修正案を提示）
- 10月 パブリックコメント（文科省Webサイト）
- 12月 改訂モデル・コアカリキュラムの完成

今後のスケジュール

- | | |
|---------|---|
| 平成25年度～ | 改訂モデル・コアカリキュラムの完成
各大学におけるカリキュラム改訂作業
円滑な薬学実務実習に向けての検討 |
| 平成27年度 | 新カリキュラムの適用 |
| 平成30年度 | 改訂コアカリに基づく共用試験 |
| 平成31年度 | 改訂コアカリに基づく実務実習 |

薬学実務実習に関する連絡会議 ①

1. 目的

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム(以下「改訂コアカリ」という。)に基づく薬学実務実習の在り方、実施体制等の大枠や方針について、関係機関間の調整を図るとともに、各機関の役割や検討事項を明確化し、薬学実務実習の実施に向けて各機関の取組へと引き継ぐことを目的として、協議の場を設ける。

2. 検討事項

- (1)改訂コアカリに基づく薬学実務実習の在り方
- (2)薬局実習と病院実習の区分、分担
- (3)方略作成の必要性
- (4)実習施設の確保
- (5)その他、必要な事項

3. 実施方法

- (1)会議は、国公立薬学部長会議、日本私立薬科大学協会、日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、厚生労働省、文部科学省、薬学教育協議会、日本薬学会教育委員会、文科省コアカリ専門研究委員会、大学関係者で構成。
- (3)会議は原則公開とする。

4. 実施期間

平成25年11月8日から平成27年3月31日までとする。

■ 検討中の課題

薬学実務実習の在り方、目標

- ・知識偏重型ではなく、体験型・参加型
- ・顧客や患者、幅広い疾病に接して、幅広い実践を体験
- ・薬局実習と病院実習の内容の連続性の確保 等

実習の枠組み等

- ・4期制への移行を検討
- ・期間の中で如何にして充実した実習を行うか検討を行い、内容の充実、水準の均質化が不可欠 等

ガイドライン

- ・大学、実習施設、指導薬剤師の役割
- ・学生にどのような実習をさせるのか 等

実習施設の確保、質の向上

御清聴ありがとうございました。



だんQくん@南信州豊丘村